

卓越した溶接技術で、 板金製品の価値を高める

納期相談
企画力自信有
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



板金加工・溶接・組立を一貫で行う和歌山工場

業務内容 量産品主体から 高付加価値品に転換

「坂口製作所」は、鉄道車両、インフラ、エネルギー、製薬、食品など幅広い分野に、アルミニウム・ステンレス素材を加工した多様な製品を提供する。創業者の出身地である和歌山県有田川町に工場を構え、タレットパンチプレスやプレスブレーキによる板金加工と溶接、組立までを一貫して行う。

以前は建築足場の量産品受注が多かったが、バブル崩壊後に量産品受注が激減したため、高付加価値品に転換した。1社依存リスクを低減するため、坂口清信社長は「売上高全体に占める1社からの受注比率が10%を超えないように心がけている」と話す。

強み 全国屈指の アルミ溶接技術

アルミ溶接を得意とする。アルミは鉄に比べて熱伝導率が高いため、溶接時の熱による変形量が大きく、求められる寸法の製品を作るのが難しい。同社は早くからアルミ溶接に取り組み、鉄の溶接に比べて圧倒的に少ないアルミ溶接技術者を多数育ててきた。アルミ溶接のJIS資格保有者は25名以上も在籍する。

和歌山工場は（二社）軽金属溶接協会から「軽金属溶接構造物製造工場M級」に認定されている。アルミ溶接品質にお墨付きを与える認定で、同認定を受けている工場は全国で7カ所しかないという。ステンレス溶接資格保有者も約15名が在籍する。

切磋琢磨 競技会に積極参加、 社員の競争意識を向上

高付加価値のもののづくりを支えるのは、作業者の高い技術レベルと先進設備の両面

である。アルミ・ステンレス溶接において、作業者が切磋琢磨して腕を上げるだけでなく、先進的な性能を持つ溶接機を導入している。アルミ溶接の腕前を競う全国軽金属溶接競技会には毎年社員を派遣し、何度も上位入賞を果たしている。

さらに板金加工では大手板金設備メーカーが開催している板金加工コンテストに作品を応募している。技術者の年齢構成は20〜65歳と幅広く、競技会への参加は特に若手のモチベーション向上につながっている。

今後の展望 新技術を確認し、 製品、取引先の間口広げる

実績、強みを持つアルミ、ステンレスだけでなく、今後の需要拡大が見込める素材の接合技術などを蓄積し、間口を広げる。具体的には、マグネシウム合金の溶接や異材接合の技術を確立し、この分野でのパイオニア企業を目指す。

一方、アルミ・ステンレス溶接についても、坂口社長は「まだまだ精度良くできることを知らない人は多い」と課題を口にする。卓越したアルミ・ステンレス製品の加工技術が強みに、ホームページで自社開発品を公開し、技術力をアピールするとともに展示会出展などで認知度を高め、全国に取引先を広げていく。



溶接で作したサッカーボール



和歌山工場外観

当社の歴史



昭和26年に創業、昭和61年に株式会社化。建設足場などの量産品を手がけていましたが、バブル崩壊後は新幹線車両部材、原子燃料輸送容器など高付加価値製品に軸足をシフトしました。創業時から取り組むアルミ溶接は、全国競技会で優勝を果たすなど国内トップレベルと自負しています。

代表取締役 坂口 清信さん

<http://www.sakaguchi-ss.co.jp/>

主な事業内容

各種工業用アルミ・ステンレス製品の設計、製造、加工、販売

主な取引先(納入先)

重電、鉄道インフラ、食品、薬品メーカー

- 住所 〒557-0054 大阪市西成区千本中2-4-14
- TEL 06-6661-7007
- FAX 06-6659-3030
- 創業 昭和26年
- 設立 昭和61年1月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 84名